

【様式】

令和8年度 学校マネジメントシート

学校名(四日市農芸高等学校)

1 目指す姿

| | | |
|-------------|---|---|
| (1) 目指す学校の姿 | 共通教科並びに専門教科を通じた教育活動の充実に努め、専門技術者(スペシャリスト)を育成するとともに、心豊かな人間性を育み、地域社会に貢献できる人材を育成する学校。 | |
| (2) | 育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿)【グラデュエーション・ポリシー】 | ○将来のスペシャリストとして、専門科目への興味・関心を持ち、専門的な知識・技能の習得を自主的に行うことができる生徒。 ○自ら進んで挨拶し、コミュニケーションをとることで、公共心、規範意識、人間関係を築く力、自尊感情を高めることができる生徒。 |
| | ありたい教職員の姿 | ○目指す学校像実現に向けて、生徒指導力と学習指導力を高めることができる教職員。 ○生徒の可能性を信じ、生徒に寄り添いながら自らも成長することができる教職員。 |

2 現状認識

| | | |
|-----------------------------|---|--|
| (1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待 | <p><生徒> 専門的な知識・技術の習得、進路希望の実現、人格形成。</p> <p><保護者> 安全・安心な学校生活の保障、規律ある生活習慣の確立。</p> <p><地域住民> 地域の活性化、学校施設の提供、地域防災の拠点。</p> | |
| (2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待 | 連携する相手からの要望・期待 | 連携する相手への要望・期待 |
| | <p><保護者> 生徒が明るく生き生きと目標に向かって努力する。自己実現・進路実現、学校からの情報発信。</p> <p><地域住民> 交流の場としての協力、地域行事への協力、地域開放講座などの実施。</p> <p><大学等や産業界> 有能な人材育成への期待。</p> | <p><保護者> 本校教育活動への理解と協力、特に家庭の教育力の向上。</p> <p><地域住民> 本校教育活動への理解と協力、特に生徒の活躍の場面の提供、地域資源の活用。</p> <p><大学等や産業界> 本校教育活動への理解と連携及び支援、特に進路実現や商品開発に向けた連携。</p> |

| | | |
|-------------------|-------|--|
| (3) 前年度の学校関係者評価など | | <ul style="list-style-type: none"> ・本校の強みである「行事の充実」が生徒の意欲向上に直結している一方、これらを支える教職員の負担軽減と生徒の主体性の育成を両立させることが課題である。もう一つの強みである挨拶は多くの生徒が実践しており、この状態を組織的な「学校文化」として定着させ、次年度以降へ伝承していく必要がある。また、将来的なリスク(教職員の休職など)を勘案した働き方改革について取り組まなければならない。 |
| (4) 現状と課題 | 教育活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・目標を持って学習や部活動に前向きに努力する習慣が醸成されている。 ・校内での合言葉である「挨拶は農芸の心」が学校文化として浸透し、何事にも真面目に素直に取り組もうとする豊かな心が育まれている。 ・農業教育、家庭科教育を進める上で、施設・設備の充実が急務である。 |
| | 学校運営等 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域や産業界との連携が年々充実する反面、地域からの要望過多により教職員の多忙化や困難化を招いている。 ・業務の簡素化・効率化を図り、生徒と向き合う時間を確保する工夫が必要である。 |

3 中長期的な重点目標

| | |
|-----------------------|--|
| 教育活動 【カリキュラム・ポリシー】 | <ul style="list-style-type: none"> ・将来のスペシャリストや地域産業を担う人材の育成のため、高等教育機関や産業界等と連携して、より実践的な学習活動を展開する。 ・基礎学力の充実と専門教科指導を強化し、生徒一人ひとりが持つ能力を引き出し、希望の進路実現につなげる。 ・心の教育や部活動等を通して、規範意識を醸成し、生徒の自主性や個性の伸長を図る。 |
| 学校運営等 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学卒業生の減少傾向が進む中で、中学生やその保護者にとって魅力のある「新しい農芸高校」の実現に向けて全教職員で取り組む。 ・専門高校の特色を生かした進学に向けた指導体制を確立する。 ・教育相談や特別支援教育の充実のための体制づくりを進める。 ・組織の業務内容の見直し、総勤務時間の縮減に取り組む。 |

4 求める生徒像

| | |
|---------------------------------|---|
| 入学時に期待される生徒の姿 【アドミッション・ポリシー】 | <ul style="list-style-type: none"> ・各学科の学習内容に興味・関心があり、学習意欲のある生徒。 ・部活動または生徒会活動等に積極的に取り組む意欲のある生徒。 |
|---------------------------------|---|

5 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標とします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標とします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重要取組

| 項目 | 取組内容・指標 | 結果 | 備考 |
|-----------|--|----|----|
| 学習指導の充実 | <p>(1)ICT を活用した学びの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多面的な学習指導実施のために、図書館を活用する。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が ICT を活用した学び(LHR 含む)を1回以上推進する。 ・図書館資料を整備し、授業での活用を図る。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した教員100% ・図書館での授業実施件数 年間40件 | | ※ |
| キャリア教育の充実 | <p>(1)進路意識を向上させ、一人ひとりの進路実現に向けた指導</p> <p>(2)就職先の安定確保と専門性を生かした進学指導の強化</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○意識向上・情報提供のための進路講話・ガイダンス:各学年3回以上 ○事業所との連携・就職先の確保に向け、事業所説明会等への参加:3回以上、事業所訪問:90社以上 ○インターンシップ:2年生1人1回以上、3年生応募前事業所見学:1人3社以上 ○基礎学力の定着と向上 校内模試:2年生2回以上、3年生4回以上 校外模試:3年生:3回以上 課外授業の実施:2年生・3年生各6講座以上 ○進路希望調査:各学年2回実施、2・3年生は1回以上の個人面談実施 ○進路広報紙「あすなろ」:各学年5回以上発行 ○求人閲覧システムを利用した進路学習:各学年1回以上実施 ○進路情報の共有・連携 3年生担任との連絡会議:5回以上、進学コース情報共有会:3回以上 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○就職内定率98%以上 ○四大・短大合格率90%以上 ○生徒・保護者の進路指導に対する満足度70%以上 | | ※ |

| | | | |
|---------------------|--|--|---|
| <p>生徒指導の 充実</p> | <p>(1) 校則の順守 (2) 挨拶、マナーの指導 (3) 問題行動の未然防止 【活動指標】 ・ 生活点検を毎月1回実施。 ・ 登校指導を毎日実施。 【成果指標】 ・ 生活点検実施日の合格率90%以上。 ・ 生活点検の締切日までの合格率100%。 ・ 教職員と生徒の80%以上が、適切な挨拶ができる。 ・ 教職員と生徒の70%以上が、適切な言葉遣いができる。 ・ 教職員の100%が生徒への声掛けができている。 (4) 美化活動の推進 【活動指標】 ・ 校外清掃を含む学校環境デーを年1回実施。 【成果指標】 ・ 生徒の70%以上が学校環境デーに参加。 (5) 部活動、生徒会活動の充実 【活動指標】 ・ 生徒会行事を毎学期1回以上実施。 【成果指標】 ・ 生徒の85%以上が生徒会行事を良かったと感じる。</p> | | ※ |
| <p>農業教育の 充実</p> | <p>(1)コース選択 【活動指標】 1年生にコース説明会2回、面談1回以上実施。 【成果指標】 コース選択満足度90%以上 (2)資格取得の推進 【活動指標】 資格取得に向けた講習を各1回以上実施 危険物取扱者試験取得講座を10回以上開設 【成果指標】 資格取得者延べ300人以上 危険物取扱者試験合格率40%以上 (3)農業クラブ活動の充実 【活動指標】 専門分野応用を図るための補習を各種10回以上実施 【成果指標】 農業クラブ各種競技会において 県大会で最優秀4つ以上 東海大会優秀賞2つ以上</p> | | ◎ |

| | | | |
|----------|---|--|---|
| | <p>全国大会優秀賞4つ以上</p> <p>(4)地域連携による社会性の育成</p> <p>【活動指標】 各種イベント、出前授業、地域開放等 20 回以上実施</p> <p>【成果指標】 参加生徒の充実度90%以上</p> <p>(5)教員の専門性向上</p> <p>【活動指標】 農業科教員全員が年 1 回以上、研修会等に参加</p> <p>【成果指標】 専門教科に対する生徒の満足度90%以上</p> | | |
| 家庭科教育の充実 | <p>(1) コース選択・進路支援</p> <p>【活動指標】 1 年生にコース説明会 2 回、面談 1 回以上実施。 専門分野の知識・技能定着を図るため補習授業実施</p> <p>【成果指標】 コース選択満足度 95%以上 進路希望達成率 95%以上</p> <p>(2)資格取得の推進</p> <p>【活動指標】 専門科目資格受検率 90%以上</p> <p>【成果指標】 資格取得者数 延べ 900 名以上</p> <p>(3)家庭クラブ活動・地域連携による社会性の育成</p> <p>【活動指標】 家庭クラブ活動・地域連携事業を年間 12 件以上実施 生徒全員が年 1 回以上参加</p> <p>【成果指標】 家庭クラブ活動充実度 95%以上 地域連携活動参加生徒の満足度 95%以上</p> <p>(4)教員の専門性向上</p> <p>【活動指標】 家庭科教員全員が年 1 回以上、研修会等に参加</p> <p>【成果指標】 専門教科に対する生徒の満足度90%以上</p> | | ◎ |

| | | | |
|-------------------------------|---|--|---|
| <p>人権教育の 充実</p> | <p>(1)人権問題を正しく理解・認識する取組</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人権LHR(2回)、人権講演会(1回)、地域との交流(3回)の実施 ○教職員の各種講演会や人権に関する研修への参加(2年に1回) <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教職員の人権意識の向上90%以上 ○教職員の各種研修会や講演会への参加率50%以上 <p>(2)生徒一人一人の実情把握と適切な指導</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個別面談(2回)、三者面談(1回)、必要に応じて家庭訪問等の実施 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の人権意識の向上90%以上 | | ◎ |
| <p>環境教育の 充実</p> | <p>(1)日常的な環境教育の実践</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○環境週間(6月)、環境月間(11月～12月)の設定 ○全教職員による授業を通じた環境教育の実践 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の環境問題に対する理解・関心の向上90%以上 ○地域清掃活動の実施。(1・2学期 年2回) | | ◎ |
| <p>防災教育・ 健康教育の 充実</p> | <p>(1)危機管理に備える組織運営</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○防災訓練の実施。(年2回) <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の防災意識の向上90%以上 <p>(2)生徒の健康教育の実践</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各種検診の実施 ○AED・エピペン講習実施(職員対象5月、生徒対象7月) ○スクールカウンセラー(50回/年)・発達障がい支援員(12回/年)による生徒支援 | | |

| | | | |
|------|---|--|--|
| | <p>○性教育講座(1学年、3学年対象)実施</p> <p>【成果指標】</p> <p>○胸部X線、心臓検診、検尿の受診率 100%。</p> <p>○「命の尊さ」に関する校長講話を年3回以上。</p> | | |
| 改善課題 | | | |
| | | | |

(2)学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標とします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標とします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

| 項目 | 取組内容・指標 | 結果 | 備考 |
|-------------------------------|---|----|--------|
| 資質向上の取組 | (1)計画的な授業研修会 【活動指標】 ・授業公開を年2回実施する。 【成果指標】 ・生徒の授業満足度80%以上 | | ◎ |
| 開かれた学校作りと組織運営の充実、情報提供による信頼の定着 | (1)本校の特色・魅力の発信 【活動指標】 ○HPの更新 月10回以上 ○報道機関に取り上げられる回数 年10回以上 【成果指標】 ○学校説明会・高校生活入門講座、農芸祭等の参加者の満足度 90%以上 | ・ | ※ |
| 働きやすい職場環境づくり | (1)総務労務時間削減に向けた取組 【活動指標】 〔令和7年度比較、()内は令和7年度実績〕 ○定時退校日を定期考査期間中とし、定時に退校できる職員の割合80%以上を目指す。(59.1%) ○部活動休養日を週1日設定し、予定通り休養日を設定した部活動の割合100%を目指す。(99.6%) ○放課後に開催され60分以内に終了する会議の割合80%以上を目指す。(76.9%) 【成果指標】 〔令和7年度比較、()内は令和7年度実績〕 ○年360時間を超える時間外労働者数を0人に削減。(17人) ○月45時間を超える時間外労働者の延べ人数を0人に削減。(156人) ○1人当たりの月平均時間外労働時間を30時間以下に | | ◎ ※ |

| | | | |
|-------------|---|--|---|
| | 削減。(18.8時間) ○1人当たりの特別休暇を含む年間休暇取得日数を21日以上。(12.8日) | | |
| 不祥事根絶に向けた取組 | (1)不祥事の根絶と教育の信頼回復に向けた取組 【活動指標】 ○コンプライアンス研修を年1回以上開催。 ○学校信頼向上委員会を年3回以上開催。 ○教職員による体罰、セクハラ、わいせつ行為等の有無について年3回生徒アンケートを実施。 【成果指標】 ○教職員による体罰、不祥事、不適切な発言を0にする。 | | ◎ |
| 改善課題 | | | |
| | | | |

6 学校関係者評価

| | |
|---------------------|--|
| 明らかになった改善課題と次への取組方向 | |
|---------------------|--|

7 次年度に向けた改善策

| | |
|--------------|--|
| 教育活動についての改善策 | |
|--------------|--|

| | |
|------------------|--|
| 学校運営について の改善策 | |
|------------------|--|